


評価軸③-32 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
京都・花灯路		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成14年度～		
支援事業名	京都・花灯路事業 (京都府, 京都市, 京都商工会議所, 京都仏教会, 京都市観光協会, 京都文化交流コンベンションビューローで構成される京都・花灯路推進協議会で実施)		
計画に記載している内容	京都を代表する歴史的文化遺産や町並み等を日本情緒豊かな露地行灯やいけばな作品で繋ぎ、初冬及び早春の季節感を魅力的に表現する。【頁7-50】		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>京都・嵐山花灯路ー2018(平成30年12月8日(土)～12月17日(月)) 【主な事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ロームが灯す「灯りと花の路」 日本情緒豊かな陰影のある露地行灯の「灯り」とボリューム感のあるいけばな作品の「花」で思わず歩きたくなる路を演出。 2 渡月橋周辺のライトアップ 渡月橋と山裾、水辺など周辺をライトアップし、雄大で美しい夜の自然景観を演出。 3 竹林の小径のライトアップ 野宮神社から大河内山荘庭園に至る散策路両側の竹林をライトアップし、頭上に広がる幻想的な情景を演出。 4 京都いけばな協会「いけばなプロムナード」 京都いけばな協会の協力により、「灯りと花の路」沿いに大型花器によるボリューム感のあるいけばな作品を展示。 <p>【来場者数】1,031,000人</p> <p>京都・東山花灯路ー2019(平成31年3月8日(金)～3月17日(日)) 【主な事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ロームが灯す「灯りと花の路」 日本情緒豊かな陰影のある露地行灯の「灯り」とボリューム感のあるいけばな作品の「花」で思わず歩きたくなる路を演出。 2 京都いけばな協会「いけばなプロムナード」 京都いけばな協会の協力により、「灯りと花の路」沿いに大型花器によるボリューム感のあるいけばな作品を展示。 3 京都いけばな協会「現代いけばな展」 円山公園を会場に、京都いけばな協会の協力による壮大な華の競演を実施。 4 「火の用心・お囃子組」 地元小学校の学童が火の用心をテーマにしたわらべ歌を唄い、拍子木、鉦、太鼓を交えたお囃子を奏でながら、「灯りと花の路」を練り歩く。 5 舞妓による奉納舞踊 五花街の舞妓が八坂神社にて舞踊の奉納を実施。 <p>【来場者数】900,000人</p> <p>通年型観光及び宿泊型観光を推進するため当該事業を実施し、一定の来場者を集める効果があった。</p> <p>【歴史的風致・基本方針との関係】寺社が多く存在し、<祈りと信仰のまち京都>の歴史的風致を形成している地域で行われる当取組により、歴史的風致を再認識する機会となり、歴史的建造物を守り育て、活かしたまちづくりが推進される。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	【課題】企画内容が毎年同じようなコンテンツとなっており、事業がマンネリ化している。 【対応方針】民間事業者との連携による新たな企画の実施し、更なる魅力アップを図る。		
状況を示す写真や資料等			
 <p style="text-align: center;">竹林の小径のライトアップ</p>		 <p style="text-align: center;">法観寺のライトアップ</p>	
京都・嵐山花灯路ー2018 (平成30年12月8日(土)～12月17日)		京都・東山花灯路ー2019	

評価軸③-33

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
京都市伝統産業「未来の名匠」認定制度		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統産業業界において中核を担いつつある中堅技術者の意欲向上に資する京都市伝統産業「未来の名匠」認定制度を実施。【頁7～51】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 5月1日～6月29日 公募
- 9月11日～9月27日 工房調査を実施(申請者18名)
- 9月21日 過去の認定者による交流会開催
- 11月6日 申請者によるプレゼン審査(京都市伝統産業活性化推進審議会審査選考部会)
- 12月20日 認定式(市長出席/京都ホテルオークラ)
10業種10名を認定。
(西陣織, 京小紋, 京漆器, 京印章, 京焼・清水焼, 表具, 和蠟燭, 京漬物, 京菓子, 清酒)
- 3月2日～3月31日 京都にて「未来の名匠」技の披露展
京都駅ビル(3月2日～31日), ふれあい館ギャラリー(3月2日～24日),
みやこめっせ(3月16日～17日)

【歴史的風致・基本方針との関係】<ものづくり・商い・もてなしのまち京都>の歴史的風致の重要な構成要素である伝統産業を支える技術者を育成・表彰し, 技術や関係業界の振興・発展・継承に努めることは, 歴史的風致の維持向上に大きく寄与し, 伝統産業を活かしたまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



工房調査



技の披露展 (京都伝統産業ふれあい館)



認定式



技の披露展 (京都駅ビル)

評価軸③-34

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
京もの国内市場開拓事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 京都のまちの魅力や伝統文化を紹介するとともに、和装・工芸が一体となった京都の伝統産業PR展示会を行い、新たな需要を開拓する。【頁7-52】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

《「京都知恵産業フェア2019」》

1 日程等

日 時:平成31年3月6日(水)～7日(木) 2日間

会 場:京都市勤業館みやこめっせ(京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1)

2 内 容:バイヤー向けの展示商談会

【歴史的風致・基本方針との関係】<ものづくり・商い・もてなしのまち京都>の歴史的風致の重要な構成要素である伝統産業を、広くPRする取組により、これらの歴史的風致の維持向上に大きく寄与し、伝統産業を活かしたまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

京都知恵産業フェア2019



評価軸③-35 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度															
項目		現在の状況																
伝統芸能文化創生プロジェクト		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手																
事業期間	平成30年～																	
支援事業名	市単独事業																	
計画に記載している内容	「五感で感じる和の文化事業」の成果を引き継ぎ、伝統芸能文化に関する保存・継承・普及等の総合的な観点から、伝統芸能文化を取り巻く課題の改善や継承へ向けた提案に取り組む。【頁7～55】																	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																		
<平成30年度の実施内容と実績> ①伝統芸能文化に係る総合相談窓口の設置 ⇒相談件数:161件(平成30年12月末まで) ②ネットワーク構築・リサーチ ⇒新規15件構築(平成30年12月末まで) ③伝統芸能文化復元・活性化 共同プログラム ⇒応募:20件, うち採択:3件 ④伝統芸能文化創生ネットワーク会議の開催 ⇒平成31年2月3日開催 ⑤シンポジウム&公演「変わりゆく伝統芸能」の開催 ⇒平成31年2月3日開催 ⑥各種講座・受託事業の開催 ⇒5件の開催(平成30年12月末まで)																		
【歴史的風致・基本方針との関係】市民が生活の中で伝統文化・伝統芸能を身近に感じ、体験することができる機会を創出し、今まで伝統文化・伝統芸能に親しんでいなかった層がこれらの伝統芸術に関わるきっかけとなり、伝統文化・伝統芸能の維持・発展につながり、文化芸術を活かしたまちづくりが推進される。																		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない																		
状況を示す写真や資料等																		
③ 伝統芸能文化復元・活性化 共同プログラム		⑥ 各種講座・受託事業																
◆応募総数：20件 ◆採択案件数：3件(以下参照)		平成30年12月23日開催 講座シリーズ#5「三味線組歌ってなに？」																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>件名</th> <th>申請者等名</th> <th>内容</th> <th>進捗状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上烏羽に芸能六斎の復活を目指してー祇園囃子の創作</td> <td>かみとはしのかみかねこうちゅう 上烏羽橋上証講中 (代表：熊田 茂男)</td> <td>祇園囃子は、京都の民俗芸能「六斎念仏」でも演じられている。上烏羽では、大正期以来中断していた「祇園囃子」を創作し、芸能六斎を復活することで、民俗芸能継承に新たな潮流を発信する。</td> <td>・壬生六斎念仏講中より講師を招いて「祇園囃子」を復曲・創作しつつ、その過程を記録している。 ・パンフレットの作成、六斎念仏シンポジウムの開催を予定。</td> </tr> <tr> <td>柳川三味線のための胴皮新素材開発</td> <td>林美恵子 (柳川三味線)</td> <td>入手困難である柳川三味線の胴皮の試作品を、新素材(和紙)で製作する。実演家による試演を行い、精度を高める。</td> <td>・岐阜県産業技術研究所にて和紙素材の胴皮サンプルを作成。 ・アサノ楽器店協力のもと三味線師による皮貼り作業を予定している。</td> </tr> <tr> <td>ゴッタン<small>ゴキウタン</small>の製造技法および基礎資料のアーカイブと交流ネットワークの創出</td> <td>ゴッタンプロジェクト (代表：橋口晃一、黒坂周吾)</td> <td>南九州(鹿児島県、宮崎県の一部)の三弦楽器「ゴッタン」の職人の減少に伴い、楽器の製作技術の記録、また歴史的背景の調査を行い、ゴッタンを通じたネットワークを構築することで認知向上を目指す。</td> <td>・11月に現地でのリサーチを行い、ゴッタンに係る取組を把握、打合せを行う ・ネットワーク構築に向けて現地でのプレサミットの開催、パンフレットの作成、ゴッタンの制作記録の作成を予定している。</td> </tr> </tbody> </table>	件名	申請者等名	内容	進捗状況	上烏羽に芸能六斎の復活を目指してー祇園囃子の創作	かみとはしのかみかねこうちゅう 上烏羽橋上証講中 (代表：熊田 茂男)	祇園囃子は、京都の民俗芸能「六斎念仏」でも演じられている。上烏羽では、大正期以来中断していた「祇園囃子」を創作し、芸能六斎を復活することで、民俗芸能継承に新たな潮流を発信する。	・壬生六斎念仏講中より講師を招いて「祇園囃子」を復曲・創作しつつ、その過程を記録している。 ・パンフレットの作成、六斎念仏シンポジウムの開催を予定。	柳川三味線のための胴皮新素材開発	林美恵子 (柳川三味線)	入手困難である柳川三味線の胴皮の試作品を、新素材(和紙)で製作する。実演家による試演を行い、精度を高める。	・岐阜県産業技術研究所にて和紙素材の胴皮サンプルを作成。 ・アサノ楽器店協力のもと三味線師による皮貼り作業を予定している。	ゴッタン <small>ゴキウタン</small> の製造技法および基礎資料のアーカイブと交流ネットワークの創出	ゴッタンプロジェクト (代表：橋口晃一、黒坂周吾)	南九州(鹿児島県、宮崎県の一部)の三弦楽器「ゴッタン」の職人の減少に伴い、楽器の製作技術の記録、また歴史的背景の調査を行い、ゴッタンを通じたネットワークを構築することで認知向上を目指す。	・11月に現地でのリサーチを行い、ゴッタンに係る取組を把握、打合せを行う ・ネットワーク構築に向けて現地でのプレサミットの開催、パンフレットの作成、ゴッタンの制作記録の作成を予定している。		
件名	申請者等名	内容	進捗状況															
上烏羽に芸能六斎の復活を目指してー祇園囃子の創作	かみとはしのかみかねこうちゅう 上烏羽橋上証講中 (代表：熊田 茂男)	祇園囃子は、京都の民俗芸能「六斎念仏」でも演じられている。上烏羽では、大正期以来中断していた「祇園囃子」を創作し、芸能六斎を復活することで、民俗芸能継承に新たな潮流を発信する。	・壬生六斎念仏講中より講師を招いて「祇園囃子」を復曲・創作しつつ、その過程を記録している。 ・パンフレットの作成、六斎念仏シンポジウムの開催を予定。															
柳川三味線のための胴皮新素材開発	林美恵子 (柳川三味線)	入手困難である柳川三味線の胴皮の試作品を、新素材(和紙)で製作する。実演家による試演を行い、精度を高める。	・岐阜県産業技術研究所にて和紙素材の胴皮サンプルを作成。 ・アサノ楽器店協力のもと三味線師による皮貼り作業を予定している。															
ゴッタン <small>ゴキウタン</small> の製造技法および基礎資料のアーカイブと交流ネットワークの創出	ゴッタンプロジェクト (代表：橋口晃一、黒坂周吾)	南九州(鹿児島県、宮崎県の一部)の三弦楽器「ゴッタン」の職人の減少に伴い、楽器の製作技術の記録、また歴史的背景の調査を行い、ゴッタンを通じたネットワークを構築することで認知向上を目指す。	・11月に現地でのリサーチを行い、ゴッタンに係る取組を把握、打合せを行う ・ネットワーク構築に向けて現地でのプレサミットの開催、パンフレットの作成、ゴッタンの制作記録の作成を予定している。															
		平成31年2月3日開催 シンポジウム&公演「変わりゆく伝統芸能」																
																		

評価軸③-36

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
世界歴史都市連盟を通じた国際社会における京都の魅力発信の拡大		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成6年～		
支援事業名	任意団体(世界歴史都市連盟)の事業		
計画に記載している内容	歴史都市という共通の絆で結ばれた都市が、将来にわたって日常的な交流を促進する。【頁7-59】		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

第16回世界歴史都市会議の開催，歴史都市の取組等を掲載した連盟機関紙の発行，連盟公式ウェブサイトによる情報発信等を実施。

- ・第16回世界歴史都市会議(トルコ共和国・ブルサ市開催。2018年9月開催) 参加都市 38都市(21か国)
- ・2019年3月現在の加盟都市数 117都市(65か国)

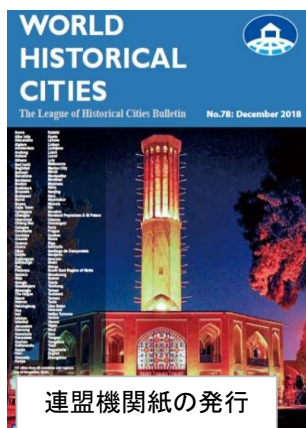
【歴史的風致・基本方針との関係】国内外を問わず各歴史都市との交流や情報交換，京都市の歴史遺産の保存の取組の発信を行うことにより，文化の発信・発展につながる結果，歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史都市連盟への新規加盟の呼びかけ。加盟都市に対しては，連盟事業(歴史都市会議への参加，機関紙への取組掲載等)への更なる参加を促す。

状況を示す写真や資料等



第16回世界歴史都市会議(トルコ・ブルサ)の様子



連盟機関紙の発行



公式ウェブサイトの運営